

教育委員会の諮問を受けて昨年から協議をしてきた学校給食のあり方検討委員会は、2月25日、中学校給食は、全員給食が望ましいと答申することを確認し、この一年間の協議を終了しました。ただし、三つある給食の調理方式（センター方式、自校方式、親子方式）については、それぞれメリット・デメリットがあるとし

て、望ましい調理方式は、選定されませんでした。

この給食の調理方式については、私たち市民が、市長や教育委員会まかせにせず知恵と意見を出し合い、子どもたちと河内長野の将来にとってもっとも望ましい給食方式を決めていきましょう。

3つの調理方式

- *センター方式：センターで調理し各校に配送する方式。現在の河内長野の学校給食は、この方式。
- *自校方式：学校内の給食室で調理する方式。
- *親子方式：近隣の学校（親）で調理して他の学校（子）に配送する方式。

小学校 中学校ともに 自校方式 の給食を提案します

センター方式にはない

自校方式 6つのメリット

1. できたてを食べられる

調理員さんたちは、4時間目の終わりのチャイムがなるギリギリまで、おかずを食缶に入れません。それは、できたてのおいしい給食を子どもたちに食べてもらうためです。

2. 作り手の顔が見える

調理員さんと子どもたちが、お互いの顔をみながら「給食どうだった」「おいしかったよ」と声をかけあうことのできる給食ができます。

3. 地元野菜がたくさん使われる

箕面市では、9年前、自校方式の給食を、小学校だけだったのを中学校でも始めたのを契機に給食での箕面産野菜の使用率は、急増しました。今年1月は、40.4%で、ニンジンなど5品目は100%でした。

4. 学校行事に対応でき独自メニューも作れる

和泉市の石尾中学校では、生徒の給食委員と栄養教諭と調理員さんが話し合って、独自メニューの給食をつくっています。

5. 災害時に学校で炊き出しができる

2014年広島豪雨災害では、広島市の自校方式給食の調理員さんたちは、豚汁やカレーライスの炊き出しを行いました。

6. 子育て世代が河内長野に住みたくなる

全小中学校が自校方式の芦屋市は、当市の給食の映画をつくり、子育て世代に芦屋の魅力をアピールしています。

署名にご協力ください

下のハガキに署名していただき切り取って63円切手を貼って投函してください。署名用紙がお入り用の方は、連絡くださいばお届けいたします。

きりとり

自校調理方式で早期に
中学校全員給食等を求める要望署名

河内長野市長
島田 智明様
河内長野市教育委員会教育長
松本 芳孝様

【要望内容】

1. 自校調理方式で早期に中学校全員給食をしてください。
2. 小学校給食も順次自校調理方式に切り替えてください。

氏 名	住 所



↑ 和泉市は小・中すべて自校方式
(広報いずみ平成27年2月号)



↑ 宝塚市自校方式の中学校にて



↑ 2014年8月24日広島市梅林小学校にて
(「朝日新聞digital」)

→ 昨年4月～7月3ヶ月間で給食で使われたタマネギの箕面産タマネギ使用率は、100% (箕面市ホームページ)



↑ 自校方式の給食の映画を作った芦屋市
(2021.11.5「朝日新聞」)



↑ 嫌いな食材トップ5でつくった給食
委員会のプライドをかけたメニュー
(石尾中ホームページ)



Q. センター方式の場合、工事期間中の給食はどうなるのでしょうか。

A. 給食センターからの給食は、工事期間の24年度、少なくとも1年間、ストップします。

教育委員会は、第4回給食あり方検討委員会で次のように説明しています。

「このセンターを取り壊して、また新しいセンターを建てるということになっていますので、その工事期間も恐らく少なくとも1年はかかるのではないかという見込みがありますので、その間は小学校の給食、中学校の選択制給食も、そのままだと停止することになります」（河内

長野市ホームページ「第4回 河内長野市学校給食のあり方検討委員会 議事要旨」）。工事期間は2年後の2024年度としています（河内長野市ホームページ「第4回 河内長野市学校給食のあり方検討委員会 協議資料」）。

一方、自校方式の場合は、各学校での工事期間中も給食センターは、操業していますので、給食の提供が停止されることはありません。

Q. 自校方式の場合、給食室をつくるスペースがない学校もあるのではないのですか。

A. 給食室は、校舎改修などの方法を使えば、つくるができます。

教育委員会は「自校調理場が配置できる可能性が高い中学校は4校/7校、小学校は5校/13校」（河内長野市学校給食のあり方検討委員会答申書案）としています。しかし、これは、給食室を「増設でなく単独棟での整備を検討する」「校舎1階の複数の教室を改修して行う調理場整備は検討しない」（河内長野市学校給食のあり方検討委員会 答申書（案））という方針のもとに調査・検討した結果です。

しかし、自校方式の給食を実施している他市では、給食室を単独棟だけでなく、校舎の増設・改修等を行って整備しています。

例えば、富田林市では、中学校給食（選択制）の給食室を、市内にある8中学校すべてに、単独棟ではなく校舎の増設・改修・建て替えによって給食室を配置して自校方式の給食を実施しています。富田林市教育委員会の資料によると、8中学校のうち、3校が校舎1階の改修、2校が校舎増設、1校が校舎建て替え、2校が校舎増設・改修で、給食室を整備しています。

河内長野市でも、単独棟だけでなく校舎の改修などの方法を使えば給食室を各学校に整備できます。

市民のみなさんからの声

60年前に鹿児島県では

中学校完全給食がはじまっていた

私は昭和22年生まれ。鹿児島県で生れ育ちました。小学校低学年では脱脂粉乳を飲まされた思い出があり

ます。小6卒業前に完全給食が始まりました。中学校でも、昭和37年(1962年)卒業前に完全給食。小中ともに卒業前実施というのが、恨めしい思い出の一つです。当時は農家も多く、白米がいきわたっていましたが、私の家は麦飯が日常でした。母親は麦の少ないところを選んで弁当に詰めてくれていましたが、色が気になったものです。学校給食が始まって

幸せを感じました。調理場から漂ってくる出汁の香りが、60年たった今でも鼻の奥に残っています。思えば、

60年前に鹿児島県では中学校完全給食がはじまっていたんです。

前宝塚市長さんの話しでも、自校調理方式を始めるのはかなりエネルギーがいると思われます。自校調理方式の意義をわかり賛同していただける人々の輪をもう一息広げて最初の一步を踏み出したいですね。がんばりましょう。



63円切
手を貼っ
てください

5860009

河内長野市木戸西町1丁目6-21-4

新日本婦人の会・河内長野支部 気付

中学校全員給食を求める会 行

あなたのメッセージ



★みなさんからのご意見・ご質問をおよせください